

急増中

お父さんお母さん緊急事態です！！

RSウイルス

1歳未満で発病してしまうと、
RSウイルスはインフルエンザより凶暴に



赤ちゃんをおびやかす存在
それがRSウイルス！！

RSウイルスとは？

RSウイルス、すなわちRSウイルス感染症は、乳幼児の肺炎・細気管支炎の原因となるウイルスです。このウイルスは肺炎・細気管支炎の原因の約50%以上を占めます。人間は3歳迄に抗体を得る事が出来ますが、例えば1歳に満たない乳幼児の場合、RSウイルスにより発病してしまうと事態は深刻です。

RSウイルスから赤ちゃんを守るには 何よりも予防が肝心

RSウイルスは非常に感染力が強く、ウイルスがおもちゃなどに付着してから4~7時間は感染力を持っているといえます。

RSウイルスは目や鼻、口の粘膜から感染します。赤ちゃんは手近においてあるものを何でも口に入れたがりますから、塩素系消毒で赤ちゃんの周りのものをこまめに消毒しましょう。

こんな症状は様注意！！

- 38℃以上の熱がある
- 呼吸が浅く、呼吸数が多くなる
- ゼイゼイする咳がつづく
- たんが詰まる
- 発症後、急激にくったりする

1つでも当てはまったら直ぐ病院へ



除菌には3SWをオススメします

3SWは、口腔ケアに長年実績がある程、人体に無害です。RSウイルスやノロウイルスをはじめ加湿器を使用する際に発生するレジオネラ菌や、流行が予想される新型インフルエンザにも絶大な効果があります。

お気軽に、スタッフ迄お問い合わせ下さい

